

産業厚生常任委員会会議録

(令和8年8月5日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会産業厚生常任委員会会議録

本日の会議 令和8年8月5日（水）
招集場所 議員協議会室

出席委員

委員長	尾崎 恵一	副委員長	岡 雄次
委員	山本 美佐	委員	嘉喜 山茂
委員	原田 達也	委員	濱本 元通
委員	吉村 直城		

欠席委員

なし

出席委員外議員

議長 吉田 茂生

傍聴委員外議員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長 土居 章二 主幹 尾川 美保

説明のため出席した者

なし

本日の委員会に付した案件

（１）所管事務調査

□「愛南町の各保健福祉センターの機能・役割と運営上の課題について」

（２）その他

開 会 13時12分

閉 会 13時30分

○岡副委員長 それでは全員そろいましたので、ただいまから産業厚生常任委員会を始めます。

まず、開会に当たりまして委員長挨拶をお願いいたします。

○尾崎委員長 皆さん、本日は西予市の行政視察、大変お疲れさまでした。今回の視察では、西予市の保健福祉センター再編について、多くの学びを得ることができたのではないかと思います。本日の、これからのもとの会では、西予市視察とこれまでの調査を踏まえて、委員会としての方向性について意見交換をしてみたいと考えております。忌憚のない御意見をどうぞよろしくをお願いいたします。

○岡副委員長 ありがとうございます。それでは、これからの進行は委員長お願いいたします。

○尾崎委員長 そしたらまず、先ほど来の視察研修受けましたけれども、概略、確認の意味でちょっと申し上げたいと思います。

西予市の保健福祉センターにつきましては、まずは施設ではなくて、住民サービスを維持するという考え方で再編をされたかと思います。また、人口減少とか高齢化を踏まえた施設機能の集約ということを前提にやったということが印象に残っております。さらに、住民説明や合意形成、これも慎重に重ねながら再編を進めたことがポイントとして挙げられておりました。再編後も、今後、保健福祉サービスは継続して行うことを念頭にしておるということを、こういったところを概略的には確認できたのかなと今、思っております。

それで、まず、西予市から今回の視察において感じたこととか、学ぶ点を皆さんからちょっと確認の意味で聞かせていただけたらと思いますけれども、何か今日の視察で気づいたような点はいかがでしたか。何でも結構です。

岡委員。

○岡副委員長 まずその、合併に当たって、公民館を、公民館事業を利用して住民の皆さんに浸透を図っていったというところが少し印象に残っています。

○尾崎委員長 ありがとうございます。

ほかにないでしょうか。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 やはりその施設は減らしてもサービスは残すというところで、今後、まあ愛南町もそんなに財政が十分ではないので、その辺は踏まえた上で再編を進めていくべきかなと思います。

以上です。

○尾崎委員長 ありがとうございます。

原田委員。

○原田委員 今日の西予市なんですけど、今年度から保健センター、西予市保健センター、保健福祉センターということで、一本化して運営しているんですが、別に住民からもそんなに不満とかそういったクレームもないということで、今のところ順調に推移をしているんじゃないかと思っています。愛南町としても、西予市と同じようにこれ、一本化ということで、今後考えていく必要があるんじゃないかと、そのように思います。

以上です。

○尾崎委員長 ありがとうございます。

はい、山本委員、どうぞ。

○山本委員 私も地域づくり活動センターですよ、町民会館、集会所とかそういうところを全部一本化してやっているっていうのが、住民の、地域の住民の方に受け入れられているのかなと思って、見ました。同じように高齢化が進む町ということなので、より、その地域の皆さんが通いやすい、サービスを受けやすい状態を考えられているなと感じました。

○尾崎委員長 ほかにいかがでしょうか。

吉村委員、いかがですか、今日は。

○吉村委員 今日話を聞きながらちょっと思った、思ったいうか、あれやったんですけど、この保健センター、僅か・・・一般財源の負担が160万から190万円がゼロになったと・・・僅かこれ。

実は、合併したときに、今日、西予市でも報告あったんですけども、いわゆる職員を、合併して一緒になったと。その職員減らすいうか、も含めて、支所の在り方を将来的に、多分コンビニとかあれで印鑑証明が出てくるやろうと。公民館活動を充実して、まあ今日の西予みたいに、支所のあふれかえったいうか、人間を減らすという方向を行政のほうが出して、議会もそらええなということでスタートしたんやけど、いかんせん、組長さんで全部ぼっこりひっくり返って、今日現在になっておると。その案が全部頓挫した。それが今日の方角であったことなんで、愛南もそういうことが過去あったので、やっぱりこれから保健センターに限らず、いろんな部分で、見直しは、これやっていかなんだら、もう何年も、まあ一つの例で言うたら4000万、5000万円、毎年突っ込みよるところ、何ぼでもあるんやけん。だから、これは、今日は保健センターのことやったけども、やっぱりやっていかないけんし、特に西海の、この間視察に行った器具、もうあれらは、当然のことながら、早急にあれしていつて、特に西海の例は、一つあれしたら、人工芝をあそこに、上の学校に持っていったということは、合併したときに、合併して2年目かね、2年目に、防水の、あれ2億円かけて防水しとるんよ、校舎、学校の。その後、閉校になった。ほんであと結局、町使わずに置いておる。ほいたら保健センターに、まああそこ何人か、6人か、入っとる、入居しとる人おるやない。これらも合わせてやっぱり考えていかなんだら、もう一つの例として。もう待ったなしやと思うので、まあその辺は、まあまとめは委員長に任せるけども、やっぱりしていかなんだら、もう待ったなしの状態は、愛南町も、まあもともとやけど、あるいうことをやっぱりやっていかないけん、早急に。それを強いてあれで、まとめて、委員長報告を。

○尾崎委員長 ありがとうございます。

濱本委員、いかがでしょうか。何か気づいたような点がありましたら。

○濱本委員 前にも言いましたが、みんな、いろいろ考えがあると思うんですけど、みんな考え、それを拾い上げて、みんなで頑張って、頑張っていきたいと思います。

○尾崎委員長 ありがとうございます。今、西予市から学ぶことということで、それぞれの所感を確認させていただきました。今日はまとめなので、過去の所管事務調査、それと管内視察、その中で、現状と今後あるべき姿といいますか、役割、課題をまとめたものが現時点であります。まず確認の意味でちょっと報告をしておきます。現時点で。それについてまた補足等をして、最終的にまとめていきたいと考えますのでよろしくお願いします。

まずは確認された内容、取りまとめ内容として、各、この3つの保健センターですね、これらは住民の保健福祉サービスの拠点としては、一定の役割は果たしているが、今後は高齢者を中心とした生きがいくりの場として利用していくべきではないか。それから、西海保健センターについては現在、災害時には福祉避難所としての役割があるということで、存在しているというところが確認されたところでありまして、それと施設ごとに利用状況や担っている役割が実際違ってきておるということがありました。保健事業を中心とする施設、これは城辺の健康福祉センターでありますけれども、例えば西海であれば老人福祉を中心とした機能で、社会福祉協議会が入ってやっておるといふ、また支所も管理しておるといふようなところがあります。それと、城辺の福祉センターでは、近年では児童発達支援センターを立ち上げて、新たな対応をしておるといふところが確認されております。それと、施設の利用形態につきましては、社会情勢とか住民ニーズが明らかに変化してきておるといふところで、そういったニーズに合わせた施設の在り方というのも今後、考えていかなければならないというところでありました。それから、あと施設の維持管理には、実際のところいろんな課題が現実生じているというところで、まず共通しているのは老朽化、全ての施設において老朽化が進行しておるとい

うところであります。それと、維持管理費・修繕費の確保、こういったことも今後の課題ではないかというようなところが出ておりました。それと、利用の実態と施設の規模とのバランスについては今後、今後検討していく必要があるのではないかというような意見も過去には出ております。それと、人口減少が進む中で、やっぱり将来を見据えた施設の運営が今後求められるのではないかと、このような意見が過去の活動の中では出てきております。で、その時点で確認された課題が何点かありました。まず一つが、各センターの設置の目的と、現在の利用実態が一致していないのではないかというところですね。保健福祉条例ですか、その業務に付随した業務がされていない施設があったというところです。課題ではないかということでありました。それと、今後も各施設に現在の機能を維持する必要があるのか、なければそこは整理すべきではないかというような課題。それと、限られた財源の中ですので、効率的かつ持続可能な施設運営をどのように今後実現していくのかというのが課題であろうと。もし最後に、保健福祉サービスの維持と住民の利便性というものは、今後、しっかりと両立していく必要があるのではないかというようなところが、過去の机上審査と、管内施設で、我々の中で認識された共通のところかと考えております。

それを踏まえて今日視察もしましたが、最終的に、今後、愛南町の課題、今後の方向性として再度付け加えていきたいというような点がありましたら、ぜひともお聞かせ願いたいと思いますが、いかがでしょうか。課題でも今後の方向性、何でも結構です。

山本委員。

○山本委員 視察に行ったときに、御荘の老人福祉センターにも行ったんですけど、それってというのは今回は入らないってことですか。

○尾崎委員長 そうですね、実際視察も行って、当初は3つの施設、保健福祉条例に入っている3つの施設ということで最初スタートしたんですけども、類似した施設が、合併前からあった施設も見ろべきではないかという意見がありまして、管内視察では御荘も見ました。まとめの中では、3つももちろん中心でありますけど、類似したということで、それも加えてまとめるのも結構かと思います。

○山本委員 ありがとうございます。

○尾崎委員長 いかがでしょうか。何でも結構です。

山本委員。

○山本委員 今日視察に行っていて思ったんですけど、やはり使わなくなった施設の今後、建て壊しとかそういうことも含めて考えていかないといけないのかなということを思ったので、取りまとめ、まとめの中にはそういう、どうしていくのがいいのかとかいう意見も必要かなと思いました。

○尾崎委員長 ありがとうございます。今の時点では保健福祉事業というのはないけど、別の部分で活用しておるというところで、西海保健センターやったら社協に委託して、老人福祉の宿泊所とかデイサービスに利用しておるということで、保健福祉ではないけどそれなりの、地域拠点としての役割を果たしておるので、あるいはすぐに建て壊すとか、その必要性はないかと考えますけれども、いずれも施設が古いので、その先々を考えられたときには、どうするかという方向性は今後の検討課題になろうかと思えますね。

いかがでしょうか。

岡委員。

○岡副委員長 保健センターはもう今はもう、既にもう、いろいろな使い方をしておると思うんですけど、保健センターはやっぱり地域住民の健康増進というところを目的として、有効活用していくっていうのをやっぱり、今後も続けていってほしいなというふうには、私は思います。

○尾崎委員長 ありがとうございます。

いかがでしょうか、ほかに何かありましたら。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 今、委員長言われたとおりで、特に問題はないと思います。ただ、施設廃止にまで踏み込んだ記載は必要かなと、指摘、は思います。

以上です。

○尾崎委員長 過去の、先ほども申しましたが机上審査と管内視察で出てきた意見、それと、現状とその時点での課題というのはちょっと細かく申し出ておりませんが、取りまとめしておりますので、今日の意見も踏まえて、最終的に仕上げていきたいと考えております。

ほかに意見はよろしいですか。はい、よろしいですかね。

そしたら、今日の意見も踏まえて、今申したように所管事務調査報告書案を、私と副委員長と協議しながら原案を作りまして、皆さんに一回提示をいたしますので、その内容、意見を加えて、最終的に修正をして仕上げていきたいと思います。9月の議会では報告ができるように進めていきたいと思いますので、それでよろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

○尾崎委員長 ありがとうございます。

(「委員長・副委員長に任すんでええんやないんか」と言う者あり)

○尾崎委員長 できたら見せますので、必ず。見てもらわんとやっぱり。それと、9月の議会の会期中に、次の所管事務調査のテーマを何にするかということ、少し時間を頂いて皆さんに、協議してもらおうと思っておりますので、その辺ちょっと頭の隅に置いて、考えておいてください。よろしくお願いいたします。

はい、では、よろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

○尾崎委員長 はい、終わります。

○岡副委員長 それでは、これで委員会を終わります。

委員長